



県議会ふくしま

9月定例会の概要(9/18〜10/7開催)

第83号

【企画・編集】
福島県議会広報委員会



ふくしまからはじめよう。

〈広告〉

37件の議案を可決! 147億7,800万円の補正予算など

補正予算の主な内容

- 1 新型コロナウイルス感染症対策 109億1,839万円**
 - 入院病床の確保 42億2,190万円
今後の感染拡大に備えた医療体制の整備
 - 介護サービスにおける拡大防止対策への支援 25億442万円
介護施設等が行う感染防止対策に支援金等を支給
 - 地域公共交通の運行継続への支援 3億2,300万円
運行を維持してきた地域公共交通機関に対し奨励金を支給
- 2 令和元年東日本台風等により被災した河川の復旧・改良 4億3,529万円**
被災した河川を復旧するとともに、浸水被害の防止に向けた河道掘削等を行い防災力を強化
- 3 ふくしまのももブランド再生緊急対策 1億4,450万円**
産地における防風ネットの設置や改植に要する経費を支援

9月定例会では、知事提出議案として、147億7,800万円による一般会計補正予算などの予算に関する議案2件、「福島県新型コロナウイルス対策特別資金基金条例」など条例に関する議案11件、「工事請負契約について」などその他の議案20件を原案どおり可決・承認・同意するとともに、令和元年度決算関係議案5件を継続審査としました。また、議員提出議案として「地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書」など4件を可決・請願1件を採択しました。

6常任委員会が審査を実施

10月1日、2日の2日間、6常任委員会がそれぞれ所管する部署等に係る議案の審査等を行った。また、農林水産委員会(先崎温容委員長)は令和元年台風風によって被災した相馬市の用水路の復旧状況などを、土木委員会(佐藤政隆委員長)は郡山市の逢瀬川の復旧状況などをそれぞれ現地調査した。



▲土木委員会の現地調査

3特別委員会を開催

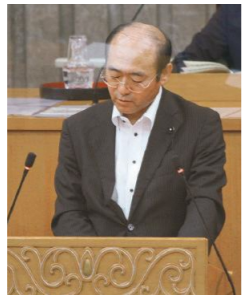
10月5日、避難地域復興・創生等対策(青木検査委員長)、災害に強い県づくり(満山喜一委員長)、少子高齢化・人口減少対策(宮下雅志委員長)の3特別委員会を開催し、7日(閉会日)に中間報告を行った。



▲少子高齢化・人口減少対策特別委員会

決算審査特別委員会を設置

9月30日、令和元年度の決算関係5件の議案を審査するため決算審査特別委員会(佐藤政隆委員長)を設置し、審査方法を協議するため初会合を開いた。審査は本庁を10月19日から3日間、出先機関を同月27日から3日間の日程で行った。



▲決算審査特別委員会の中間報告

総括審査会を開催

10月6日、本会議や常任委員会での議論が尽くせなかった問題について一問一答により審議する総括審査会(鈴木智委員長)を開催し、6名の委員が新型コロナウイルス感染症拡大防止対策など

定例会での主な質疑

県政運営

質疑 知事は、本県が抱える様々な困難を乗り越えるため、どのような思いで県政を運営していくのか。

答弁 感謝の思いが多くの笑顔を生み出し、本県が抱える様々な困難を乗り越えるための原動力になると確信する。県民の皆さんとともに、「苦しい時こそ笑顔を忘れず」の言葉を胸に、支えていただいた方々への感謝の思いを未来を切り拓くためのエネルギーに変えながら、全力で挑戦を続けていく。

台風・豪雨時の対策

質疑 自然災害から県民の命を守るため、自助・共助による地域防災力の強化を図るべきと思うが、知事の考えを尋ねる。

答弁 日頃から自分や家族等の避難行動について考えておく取組を推進するため、ふくしまマイ避難ノートを作成し、県内全世帯に配布した。また、新型コロナウイルスが懸念される中、分散避難を呼び掛けることと、住民による防災計画の作成支援など地域ぐるみで行われる自主防災活動の促進に取り組んでおり、社会全体で災害から命を守る取組を推進していく。

新型コロナウイルス感染症の検査

質疑 幅々PCR検査を実施すべきと思うが、知事の考えを尋ねる。

答弁 現在、一日当たり6百検体の検査ができる体制を整備しており、引き続き検査体制の拡充を図る。検査に当たっては、地域における感染状況を踏まえ、関連があると認められる場合には無症状者を含め広く検査対象としている。県民の皆さんの不安をしっかりと受け止め、感染拡大を防止するため、今後とも、検査体制拡充を始めとする感染症対策に全力で取り組んでいく。

新型コロナウイルス感染症の医療提供体制

質疑 新型コロナウイルスの今後の感染拡大に備え、医療提供体制の強化にどのような取り組みでいくのか。

答弁 これまで帰国者・接触者外来に加え、発熱者等の診察を行う地域外来の設置に努めたほか、入院病床は、宿泊療養施設を含めて639床を確保した。また、地域の身近な医療機関でインフルエンザと新型コロナウイルス感染症の検査を併せて実施できる体制を医師会の協力の下、整備している。今後更に、協力いただける医療機関を増やしていくとともに、地域外来の機能拡充や増設を図っていく。

観光業の再生

質疑 「ウィズコロナ」の状況の中、観光業の再生に向けた知事の考えを尋ねる。

答弁 関係団体等と連携した消毒液の配布やオンライン研修会の開催や、ガイドライン等に基づく各事業者による感染防止対策の徹底など、官民一体となって取組を進めている。あわせて、県民限定の宿泊割引や宿泊特典クーポンの配布など地域経済の早期回復に努め、さらに、宿泊割引の対象エリアを山形・新潟両県にも拡大している。今後も感染症対策と両立した観光業の再生に全力で取り組んでいく。

感染症に関連したいじめの防止

質疑 公立小中学校における感染症に関連したいじめの防止にどのように取り組んでいるのか。

答弁 9月に改めて、ひぼう中傷や不安に対する相談窓口を周知するとともに、差別や偏見を防ぐ指導について通知した。また、県独自の道徳教材を基に、差別や偏見について考える家庭向けリーフレットを配布しており、今後、学校と家庭が一体となる、差別や偏見によるいじめの防止に努めていく。

※道徳教育
家庭教育リーフレット「道徳のとびら」

議員勉強会を開催

9月25日、県感染症対策アドバイザーの金光敬二県立医科大学教授を講師に迎えて勉強会を開催し、新型コロナウイルス感染症が流行した経緯やウイルスの特徴などを学び、今後の対策に向けて理解を深めた。



▲議員勉強会

受動喫煙防止に関する条例案検討会等の設置

9月24日に自由民主党から申し入れのあった受動喫煙防止に関する議員提案条例制定のための検討会が10月7日に設置され、第一回検討会が開催された。



▲受動喫煙防止条例案第一回検討会

可決した国への意見書

(令和2年10月7日 国へ提出)

1. コンビニエンスストア等における証明書の自動交付(コンビニ交付)サービスを活用した罹災証明書の交付を求める意見書
2. 地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書
3. ドクターヘリの安定的かつ持続的な運用への支援強化を求める意見書
4. 社会資本の整備促進を求める意見書

採択した請願

(意見書、決議を求めたものを除く)

1. 南会津地域の医師確保を求めることについて

お知らせ

- ◆令和2年12月定例会は、12月2日(水)開会の予定です。
- ◆ご意見・ご感想をお寄せください。
TEL: (024) 521-7608 FAX: (024) 521-7965
メール: gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp
- ◆詳しい情報は「HP」福島県議会「検索」
- ◆「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル(YouTube)」もご覧ください。
- ◆県議会インターネット中継(生中継・録画中継)はスマートフォンやタブレット

- からもご覧いただけます。
- ◆今年度より議会中継に手話通訳を導入しております。県議会インターネット中継(生中継・録画中継)は、手話通訳の映像入りでご覧いただけます。
- ◆新型コロナウイルス感染症の拡大防止に引き続きご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症関連情報ポータル

